



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社  
 コード番号 8096 URL <http://www.kel.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 菊川 泰宏  
 (氏名) 岡崎 恭弘  
 TEL 03-5250-6823

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	44,593	10.3	5,946	9.6	5,969	9.1	3,946	9.3
30年3月期第3四半期	40,417	4.9	5,424	10.3	5,470	10.3	3,610	1.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 3,855百万円 (5.6%) 30年3月期第3四半期 3,652百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	138.01	
30年3月期第3四半期	126.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	59,989	46,337	77.2
30年3月期	63,789	45,914	71.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 46,286百万円 30年3月期 45,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		45.00		65.00	110.00
31年3月期		55.00			
31年3月期(予想)				70.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	1.2	9,950	4.3	10,000	3.8	6,600	1.7	230.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	28,633,952 株	30年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	36,245 株	30年3月期	35,936 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	28,597,831 株	30年3月期3Q	28,598,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、堅調な企業業績や雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、海外における貿易摩擦激化や政治経済情勢の影響等により、先行きは不透明な状況が継続しました。

I T業界におきましては、ビジネスにおける優位性や競争力確保に必要な戦略的I T投資に加え、働き方改革への取り組みや人手不足への対応を含む企業の生産性向上や自動化・省力化を目的としたI T投資需要が増加するなど、事業環境は全体的に堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスに加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」などのソリューションビジネスにも注力し、事業を拡大してまいりました。

具体的には、働き方改革の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築ビジネスに引き続き注力するとともに、I Tインフラ運用の効率化およびセキュリティ強化を目的としたリプレース提案を継続的に推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、445億9千3百万円となり、前年同期比41億7千6百万円(前年同期比10.3%増)の増収となりました。営業利益は、59億4千6百万円となり、前年同期比5億2千1百万円(前年同期比9.6%増)の増益、経常利益は、59億6千9百万円となり、前年同期比4億9千8百万円(前年同期比9.1%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、39億4千6百万円となり、前年同期比3億3千5百万円(前年同期比9.3%増)の増益となりました。

#### セグメントの状況

##### (システム事業)

システム事業の売上高は、311億7千5百万円となり、製造業や文教・官公庁向けのサーバー関連事業や、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、前年同期比46億5千3百万円(前年同期比17.6%増)の増収、営業利益は32億6千2百万円となり、前年同期比6億1千万円(前年同期比23.0%増)の増益となりました。

##### (サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、134億1千8百万円となり、システム構築案件に伴う作業代収入は増加したものの、レガシー機器関連の保守契約売上が減少したこと等により、前年同期比4億7千7百万円(前年同期比3.4%減)の減収、営業利益は26億8千8百万円となり、前年同期比6千9百万円(前年同期比2.5%減)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、557億5千7百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が78億3千万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて13.7%減少し、42億3千1百万円となりました。これは、繰延税金資産が3億7千1百万円減少したことなどによります。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.5%減少し、111億6千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が28億6千3百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、24億8千9百万円となりました。これは、資産除去債務が3千3百万円増加したことなどによります。

### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、463億3千7百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益39億4千6百万円の計上および配当金34億3千1百万円の支払いにより、利益剰余金が5億1千4百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.9%から77.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、依然として国内経済の先行きは不透明ではあるものの、現在の商談状況を踏まえ、平成30年4月27日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,082,235	40,788,324
受取手形及び売掛金	15,632,680	7,802,035
リース投資資産	25,112	21,147
たな卸資産	1,665,685	3,117,519
その他	3,483,116	4,028,713
貸倒引当金	△1,563	—
流動資産合計	58,887,266	55,757,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	457,871	412,610
その他(純額)	957,401	907,056
有形固定資産合計	1,415,272	1,319,667
無形固定資産		
その他	269,809	332,385
無形固定資産合計	269,809	332,385
投資その他の資産		
投資有価証券	932,344	776,266
長期貸付金	920	45
繰延税金資産	1,383,536	1,012,274
その他	908,484	799,086
貸倒引当金	△7,644	△7,782
投資その他の資産合計	3,217,641	2,579,889
固定資産合計	4,902,723	4,231,942
資産合計	63,789,989	59,989,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,447,111	4,584,011
リース債務	9,772	—
未払法人税等	1,644,478	241,357
前受収益	2,931,204	3,653,064
賞与引当金	1,061,052	298,647
役員賞与引当金	209,102	152,139
その他	2,090,268	2,232,843
流動負債合計	15,392,989	11,162,063
固定負債		
役員退職慰労引当金	11,291	13,808
退職給付に係る負債	2,093,375	2,065,137
資産除去債務	261,269	294,710
その他	116,249	116,086
固定負債合計	2,482,185	2,489,741
負債合計	17,875,175	13,651,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,112,350	7,112,350
利益剰余金	29,446,125	29,961,068
自己株式	△30,007	△31,125
株主資本合計	45,559,726	46,073,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,092	148,648
繰延ヘッジ損益	△28	△151
為替換算調整勘定	85,908	81,031
退職給付に係る調整累計額	△36,357	△16,553
その他の包括利益累計額合計	306,614	212,975
非支配株主持分	48,472	51,351
純資産合計	45,914,813	46,337,878
負債純資産合計	63,789,989	59,989,682

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	40,417,342	44,593,876
売上原価	28,567,845	32,124,457
売上総利益	11,849,496	12,469,418
販売費及び一般管理費	6,424,599	6,522,956
営業利益	5,424,897	5,946,462
営業外収益		
受取利息	6,098	4,442
受取配当金	24,130	9,800
助成金収入	8,852	6,723
雑収入	14,287	6,744
営業外収益合計	53,368	27,710
営業外費用		
支払利息	332	371
持分法による投資損失	2,800	—
雑支出	4,242	4,090
営業外費用合計	7,374	4,461
経常利益	5,470,891	5,969,711
特別利益		
投資有価証券売却益	16,567	—
関係会社株式売却益	13,208	—
特別利益合計	29,775	—
特別損失		
固定資産除却損	5,970	145
ゴルフ会員権売却損	—	2,185
特別損失合計	5,970	2,330
税金等調整前四半期純利益	5,494,696	5,967,380
法人税、住民税及び事業税	1,268,655	1,606,458
法人税等調整額	621,271	411,492
法人税等合計	1,889,926	2,017,951
四半期純利益	3,604,769	3,949,429
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,207	2,739
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,610,977	3,946,689



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	3,604,769	3,949,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,675	△108,443
繰延ヘッジ損益	286	△123
為替換算調整勘定	6,631	△4,737
退職給付に係る調整額	33,501	19,804
その他の包括利益合計	48,095	△93,499
四半期包括利益	3,652,865	3,855,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,656,227	3,853,050
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,361	2,878

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	26,521,606	13,895,735	40,417,342
セグメント間の内部売上高 又は振替高	280,575	147,312	427,887
計	26,802,181	14,043,048	40,845,230
セグメント利益	2,651,597	2,758,513	5,410,111

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	5,410,111
セグメント間取引消去	14,786
四半期連結損益計算書の営業利益	5,424,897

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	31,175,481	13,418,394	44,593,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	121,857	283,646	405,504
計	31,297,339	13,702,041	44,999,380
セグメント利益	3,262,112	2,688,555	5,950,668

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	5,950,668
セグメント間取引消去	△4,205
四半期連結損益計算書の営業利益	5,946,462

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



# 平成31年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

## 売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
売上高	44,593 百万円	10.3 %
営業利益	5,946 百万円	9.6 %
経常利益	5,969 百万円	9.1 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,946 百万円	9.3 %

	損益の状況				31年3月期	
	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比	増減率(%)	通期 業績予想	進捗率(%)
(単位:百万円)						
売上高	44,593	40,417	4,176	10.3	63,000	70.8
売上総利益	12,469	11,849	619	5.2	-	-
販売費及び一般管理費	6,522	6,424	98	1.5	-	-
営業利益	5,946	5,424	521	9.6	9,950	59.8
営業外収益	27	53	25	48.1	-	-
営業外費用	4	7	2	39.5	-	-
経常利益	5,969	5,470	498	9.1	10,000	59.7
特別利益	-	29	29	-	-	-
特別損失	2	5	3	61.0	-	-
税金等調整前四半期純利益	5,967	5,494	472	8.6	-	-
法人税等	2,017	1,889	128	6.8	-	-
四半期純利益	3,949	3,604	344	9.6	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,946	3,610	335	9.3	6,600	59.8

1株当たり四半期純利益 (円)	138.01	126.27	11.74	9.3
-----------------	--------	--------	-------	-----

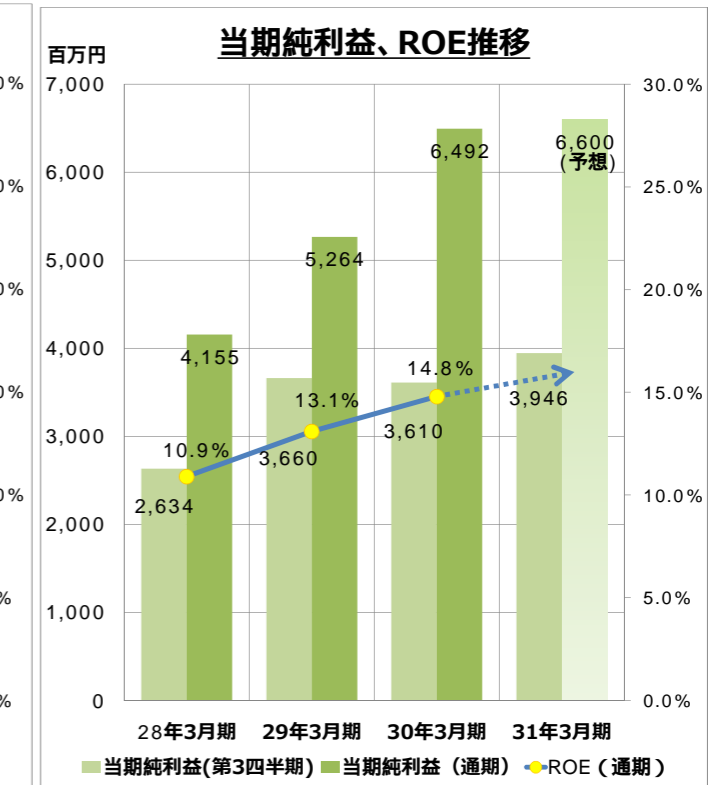
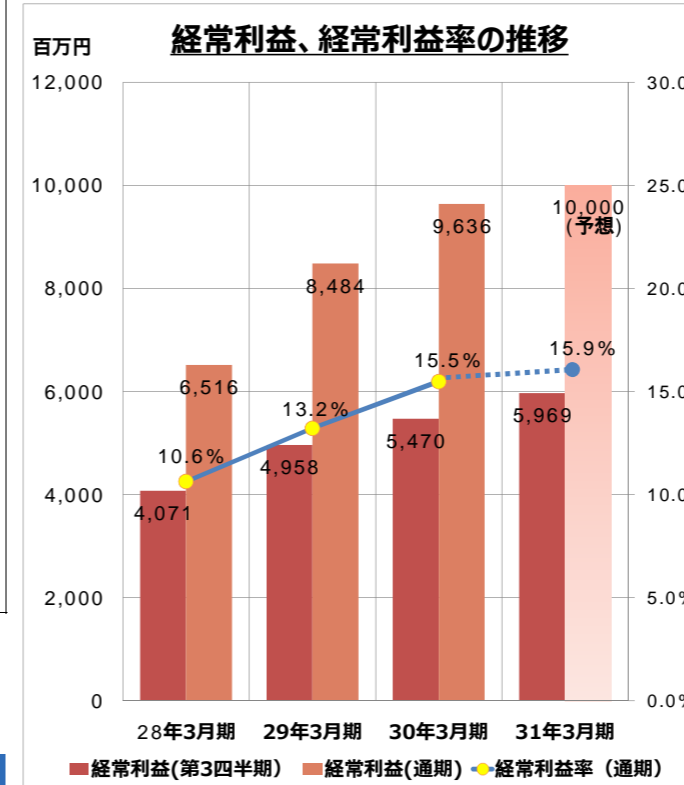
	セグメント情報					
	売上高			セグメント利益		
(単位:百万円)	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比
システム事業	31,297	26,802	4,495	3,262	2,651	610
サービス・サポート事業	13,702	14,043	341	2,688	2,758	69
計	44,999	40,845	4,154	5,950	5,410	540
その他(含む調整額)	405	427	22	4	14	18
合計	44,593	40,417	4,176	5,946	5,424	521

主な増減要因	
売上高	売上高は、445億9千3百万円となり、働き方改革の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築ビジネスに引き続き注力するとともに、ITインフラ運用の効率化およびセキュリティ強化を目的としたリプレース提案を継続的に推進したことで、前年同期比41億7千6百万円(前年同期比10.3%増)の増収。
利益	営業利益は、59億4千6百万円となり、前年同期比5億2千1百万円(前年同期比9.6%増)の増益。 経常利益は、59億6千9百万円となり、前年同期比4億9千8百万円(前年同期比9.1%増)の増益。 親会社株主に帰属する四半期純利益は、39億4千6百万円となり、前年同期比3億3千5百万円(前年同期比9.3%増)の増益。

主な増減要因	
システム事業	製造業や文教・官公庁向けのサーバー関連事業や、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、営業利益は32億6千2百万円となり、前年同期比6億1千万円(前年同期比23.0%増)の増益。
サービス・サポート事業	システム構築案件に伴う作業代収入は増加したものの、レガシー機器関連の保守契約売上が減少したこと等により、営業利益は26億8千8百万円となり、前年同期比6千9百万円(前年同期比2.5%減)の減益。

総資産及び純資産の状況					主な増減要因	
(単位:百万円)	31年3月期 第3四半期	30年3月期	前期末比	増減率(%)		
総資産	59,989	63,789	3,800	6.0	資産 流動資産は、受取手形及び売掛金が78億3千万円減少したことなどにより、前期末比31億2千9百万円(前期末比5.3%減)の減少。固定資産は、繰延税金資産が3億7千1百万円減少したことなどにより、前期末比6億7千万円(前期末比13.7%減)の減少。	
流動資産	55,757	58,887	3,129	5.3	負債 流動負債は、支払手形及び買掛金が28億6千3百万円減少したことなどにより、前期末比42億3千万円(前期末比27.5%減)の減少。固定負債は、資産除去債務が3千3百万円増加したことなどにより、前期末比7百万円(前期末比0.3%増)の増加。	
固定資産	4,231	4,902	670	13.7	純資産 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益39億4千6百万円の計上による増加と、配当金34億3千1百万円の支払いによる減少などがあり、当第3四半期では、前期末比4億2千3百万円(前期末比0.9%増)の増加。 この結果、自己資本比率は77.2%となり、前期末比5.3ptの改善。	
負債	13,651	17,875	4,223	23.6		
流動負債	11,162	15,392	4,230	27.5		
固定負債	2,489	2,482	7	0.3		
純資産	46,337	45,914	423	0.9		
自己資本(注1)	46,286	45,866	420	0.9		
自己資本比率(注2)	77.2%	71.9%	5.3pt改善	-		

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産



配当の状況				
	31年3月期	30年3月期	29年3月期	28年3月期
中間配当	55 円	45 円	40 円	35 円
期末配当	70 円(予想)	65 円	50 円	40 円
年間配当	125 円(予想)	110 円	90 円	75 円
自己資本(百万円)	-	45,866	41,946	38,597
配当性向(%)	54.2(予想)	48.5	48.9	51.6

\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。